

荒川水系（埼玉県域）大規模氾濫に関する減災対策協議会 入間川流域部会

第4回

- ・実施日：令和2年7月13日（月） 14:00～15:30
- ・場所：Web開催
- ・出席者：別紙のとおり

◆開催状況



（荒川上流河川事務所におけるweb会議の様子）



（web会議の画面の様子）

◆協議会の内容

■入間川流域緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- ・国の取組状況（荒川上流河川事務所、熊谷地方気象台）
- ・埼玉県の取組状況
- ・各自治体の取組状況（川越市、坂戸市、東松山市、川島町）

■意見交換

■その他

- ・熊谷地方気象台からの情報提供
- ・荒川上流河川事務所からの情報提供

◆取組状況

■荒川上流河川事務所

- ・堤防決壊箇所の本復旧は盛土工が完了し、順調に進捗。
- ・河道内の土砂掘削、樹木伐採、堤防整備等については測量等の事前調査を実施中。
- ・既存ダムの洪水調節機能強化として、関係省庁・利水者と調整の上、利水ダムなどの利水貯留水をあらかじめ放流する「事前放流」などの新たな運用を開始。
- ・越水・決壊を検知する機器の実証試験を実施予定。また、危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラを今年度増設予定。
- ・マイ・タイムライン講習会、広域避難計画の検討、要配慮者利用施設の避難確保計画作成にかかる講習会について各自治体の支援を予定。

■熊谷地方気象台

- ・令和元年東日本台風などでの大雨特別警報解除時の検証を踏まえ、「解除」という表現が住民に安心情報と捉えられないよう、「大雨特別警報から警報（または注意報）に切り替え」のように表現することとした。
- ・また、大雨特別警報切り替え後、引き続き氾濫への警戒を呼びかける必要がある場合は、大雨特別警報切り替え前に本省庁による記者会見、気象台から県・自治体へのホットラインな

どを実施し、切り替え後には埼玉県気象情報として荒川上流河川事務所と熊谷地方気象台による「河川氾濫に関する情報」の提供を行う。

■埼玉県県土整備部

- ・多重防御治水の推進については、都幾川における堤防決壊箇所の改良復旧、葛川・飯盛川・九十九川・都幾川の河道掘削及び樹木伐採を引き続き実施。
- ・県管理ダム（有間ダム、合角ダム）の洪水調節機能強化については、治水協定に基づく事前放流の運用を開始。
- ・国と合同で河川整備計画に関する有識者会議を開催し、合流点の処理についての計画変更を行う予定。
- ・減災に向けた更なる取組の推進としては、自治体との光ケーブル接続として追加で県の危機管理防災センターと接続済。
- ・葛川・飯盛川に危機管理型水位計を設置済。引き続き、都幾川・葛川・飯盛川・九十九川に簡易型河川監視カメラを設置予定。
- ・洪水浸水想定区域図は作成・公表済。
- ・地域住民への防災教育の推進の一環として、出前講座について今後、新型コロナウイルス感染症の予防を図りつつ進めていく予定。

■川越市

- ・平成30年11月に要配慮者利用施設を対象に「避難確保計画作成講習会」を開催、計画の作成については一定の進捗が図られたが、現状として計画に基づく避難訓練の実施は一部施設に留まっているため、今後円滑な避難ができるよう訓練の実施を働き掛けていく。
- ・排水ポンプ車の配備について、既に市の排水ポンプ車を1台導入しているが、今年度はさらに1台を追加導入する予定。
- ・自助の推進に対する取組みについて、適切な避難行動をとってもらうため、荒川上流河川事務所と共同で「マイ・タイムライン講習会」の開催を予定。

■東松山市

- ・コロナ禍における避難所運営について、体調不良者のスペースの確保等、感染対策を行うと共に、車中泊のために商業施設や公園の駐車場等を活用する協定を締結する等、避難場所の確保を行う。
- ・洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図に合わせたハザードマップの改訂を実施、マイ・タイムライン作成講習会、避難確保計画作成講習会を開催予定。
- ・防災行政無線のデジタル化更新工事に伴い、戸別に受信機を貸与。

■坂戸市

- ・高麗川・大谷川・谷治川へ危機管理型水位計を設置、高麗川・飯盛川・大谷川・葛川へ簡易型河川監視カメラを設置。
- ・洪水浸水想定区域図の公表に伴ったハザードマップの改訂、防災アプリの導入を予定。
- ・H30年度に2台の排水ポンプ車を導入し、令和元年度東日本台風で排水作業を実施。
- ・15mの水のうを50本購入し、職員による訓練を実施予定。
- ・防災行政無線のデジタル化更新工事に伴い、モーターサイレンを設置。

■川島町

- ・高台避難所の整備を推進。
 - ・タイムラインを始めとした水防体制の見直しを実施。
 - ・川島町は堤防決壊の際に町内全域が浸水域となるため、町外の一時的避難所を含めた広域避難場所の確保を進めている。
 - ・浸水想定区域図の公表に伴ったハザードマップの改訂、浸水リスクの周知のための防災説明会を開催予定。
-

-
- ・防災情報伝達手段として戸別受信機を全戸配布。
 - ・避難所における新型コロナウイルス感染症対策を実施。

◆取組状況に対する質問・意見

- ・ 昨年の令和元年東日本台風では荒川、入間川等市内を流れる河川で過去最高水位を記録した。避難勧告の対象者に対し、避難所の不足などの課題がある。このため、浸水想定区域内の指定避難所である小学校の上層階等への避難のほか指定避難所以外の公共施設等を一時的な避難場所として確保できるよう協議を進めている。(川越市)
- ・ 市の中心を流れている県管理河川の市野川について、令和元年東日本台風では危険な状態だったが、水害は免れた。今後大きな被害が発生しないよう、ぜひ国からの支援もお願いし、河川改修を進めていただきたい。また、迅速な避難行動を起こしてもらうため、国交省・気象庁とも連携し、予測も含め住民の方々に自治体からの適切な情報提供を早め早めに行っていきたいと考えている。(東松山市)
- ・ 県において早急に葛川、飯盛川へ排水機場を設置、増設していただきたい。また、遊水地を早く作りたいので、詳細な計画を早く示して欲しい。(坂戸市)
- ・ 川島町は堤防に囲まれているため、堤防の法尻強化、堤脚水路の整備をお願いしたい。市野川についても掘削、樹木伐採をお願いしたい。(川島町)
- ・ 県管理河川の市野川については、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」のメニューの一つとして諏訪堰の改築を進めている。「3か年緊急対策」は今年度までとなっているが、来年以降も改修が進むよう努力していきたい。合流部の対策についても、排水機場は計画高水位に到達すると停止させるという制約がある中でどのような治水システムが安心で適切か、地元自治体のご意向をお聞きしながら進めていきたい。(埼玉県県土整備部)
- ・ いつどんな大雨に見舞われるかわからないといった状況の中で、国、県と適切に情報を共有しながら、協力して対応をしていきたい。(熊谷地方气象台)

◆その他

- ・ 熊谷地方气象台より、「自らの命は自らが守る」社会を支える取組についての情報提供があった。
- ・ 荒川上流河川事務所より、入間川流域緊急治水対策プロジェクトHPについて、また自治体の取り組みに対する各種支援制度についての情報提供があった。

◆協議会結果

- ・ 本日共有した取組状況や意見交換を踏まえ、地域の少しでも早い安全・安心の確保のため、より一層各関係機関で連携し入間川流域緊急治水対策プロジェクトの取組を進めていく。
 - ・ 現在出水期に入っているため、各関係機関の情報連絡体制をより強化し連携して対応していく。
-

荒川水系(埼玉県域)大規模氾濫に関する減災対策協議会
第4回 入間川流域部会 出席者名簿

日時・場所: 令和2年7月13日(月)14:00~ web開催

機関名	組織名	役職	氏名	備考
川越市	—	市長	川合 善明	
東松山市	—	市長	森田 光一	
坂戸市	—	市長	石川 清	
川島町	—	町長	飯島 和夫	
埼玉県	危機管理防災部	部長	森尾 博之	代理:災害対策課 副課長 遠井 文大
埼玉県	県土整備部	部長	中村 一之	代理:河川砂防課 参事(兼)課長 林 雄一郎
気象庁 熊谷地方气象台	—	台長	桜井 美菜子	
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所	—	事務所長	藤本 雄介	